

「いかるが音楽コンクール」本選

日頃の練習の成果披露

アマチュア音楽家が集つた「いかるが音楽コンクール」第4回いかるが音楽コンクール2016の本選が26日、斑鳩町のいかるがホールで開催され、小学生から大人までの参加者がピアノや管弦楽で日頃の練習の成果を披露した。27日も同ホールで、ピ

アノや声楽などの審査や表彰式が行われる。

人種、世代、性別などを越えて、音楽を通じてつながることを目的に同コンクール理事長の奥谷友子さん(39)らが企画。奥谷さんは「アマチュアにも発表の場を提供し、気軽に音楽を楽

しんでほしい」と話す。コンクールは4つの部門に分かれ、年齢や経験を問わず、誰でも参加ができる。

演奏技術だけでなく、音楽に対する情熱なども評価される。小中学生からジュニアグランプリ、高校生



参加者らはコンクールで日頃の練習の成果を披露した一斑鳩町

以上から最優秀グランプリをそれぞれ1人ずつ決める。今年は全国から約230人が応募し、予選を勝ち抜いた約160人が本選へ出場した。

ピアノで参加した町立斑鳩小学校1年、久保颯花さん(6)は「緊張して少し失敗してしまったけど、楽しく弾くことができた」とほっとした様子を見せた。